

令和5年度

学生によるオレンジリボン運動

長崎純心大学 実施報告書



実施主体 長崎純心大学 地域包括支援学科

実施内容 街頭にて啓発活動

①事前に取り組んだ内容

- ・ 長崎県福祉保健部こども政策局こども家庭課職員の方による講和（虐待の現状など）
- ・ 児童養護施設職員の方による講話
- ・ オレンジリボンの作成

②実施期間に取り組んだ具体的内容

長崎県こども家庭課と協力し、長崎市浜町アーケードにて市民に向け、児童虐待防止に関するリーフレットやオレンジリボンなどを児童虐待防止のシンボルカラーであるオレンジのジャンパーを着用して配布するとともに、広報啓発を行った。

③オレンジリボン運動を終えて…

参加した学生の感想

○実際に活動に参加してみて、直接どういう活動なのか聞いてくれる人もいて嬉しかった。一方、チラシを受け取ってくれる方は、若者よりも高齢者の方が多く、若者にももっと児童虐待の実態を知ってもらうためにどうすればよいか考えるべきだと思った。親子連れの家庭にも、何組かチラシを配ることができて、悩んでいたら相談できるサポートがあることを知ってもらえたと思った。私たちがこの活動をすることで、初めてこの活動を知った人も増えたと思うと、参加して本当に良かったと思ったし、社会貢献できたことだけでも嬉しかった。

○オレンジリボンを班の皆と作成した時から、子どもの虐待が無くなることを願って取り組んだ。活動当日も同じように願って、通行人に願いが届くように、声を出してティッシュやオレンジリボン、パンフレットを配布した。受け取ってもらう際も、「児童虐待防止にご協力お願いします」と声をかけて、私たちの思いが伝わるように声をかけた。最初は簡単には受け取ってもらえなかったが、自分から積極的に近づいていくことで受け取ってもらえる回数が増えた。このことから、児童虐待防止に限らず、何事も積極的に行動することの大切さを改めて感じた。

